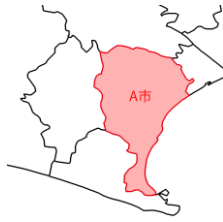
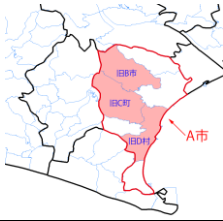


災害事例ID		1989-07-31_x_RLxxxx_JP14205-014443-13			範囲精度 *2 A
現在の自治体名*1		神奈川県 藤沢市（地方公共団体コード：JP14205） 代表点座標：35.33894, 139.491116			
災害の種類		風水害（洪水，大雨），斜面災害（表層崩壊）			
自然現象		風水害	期間降水量：176 mm，地点：南消防署（平成1年7月31日 2:00 ～ 平成1年8月2日 7:00)		
発生時期	発生日	1989年7月31日（平成1年7月31日）			
	災害の継続期間	1989年7月31日（平成1） ～ 1989年8月2日（平成1）（発生期間）			
被害詳細	建物被害	浸水被害	床下浸水	2 棟	
	インフラ		道路	6 箇所	
出典資料		藤沢市消防本部（2009）：消防年報 2009年(平成21年)版，p115.			

*1：2013（平成25）年1月1日時点

災害事例ID		1989-07-31_x_RLxxxx_JP14205-014443-13	
風水害	期間降水量		176 mm, 地点:南消防署(平成1年7月31日 2:00 ~ 平成1年8月2日 7:00)
斜面災害	発生箇所数	表層崩壊	3箇所

*2：範囲精度の解説

範囲精度	事例の地理的な範囲の用例	事例範囲のイメージ
A	事例レコードの地理的範囲と災害統計値の集計エリアとが同一。	
B	事例レコードの地理的範囲(現在のA市)は、災害発生当時の旧市町村エリアよりも大きいため、実際には災害が発生していない地域も含む。	
C	出典資料に事例レコードの地理的範囲に関する記述が無く、正確な範囲が不明。(例:非常に古い災害、河川の流域)	
D	事例レコードおよびその周辺地域(隣接自治体までの範囲)を含む範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。この場合、事例レコード内での被害状況は事実よりも過剰な記述となる。	
E	事例レコードを含む広域(郡、県、山麓レベル)の範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。	県・地方単位